



## **株式会社荏原製作所**

2021年12月期 第1四半期決算説明会

2021年5月14日

## イベント概要

---

[企業名] 株式会社荏原製作所

[企業 ID] 6361

[イベント言語] JPN

[イベント種類] 決算説明会

[イベント名] 2021年12月期 第1四半期決算説明会

[決算期] 2021年度 第1四半期

[日程] 2021年5月14日

[時間] 17:00 - 18:00

[開催場所] インターネット配信

[登壇者] 2名

取締役 グループ経営戦略・人事統括部長

永田 修

執行役 経理財務統括部長

細田 修吾



# 2021年12月期 第1四半期 決算説明会資料

## 荏原 (6361)

2021年5月14日

Looking ahead,  
going beyond expectations  
*Ahead*  *Beyond*

株式会社 荏原製作所

### 登壇

---

グループ経営戦略、人事統括部長の永田でございます。本日はご多用の中、当社の決算説明会にご参加いただきありがとうございます。

私から 2021 年 12 月期第 1 四半期決算の業績の概要についてご説明いたします。

# 目次



<b>決算ポイント</b>	P3	<b>4. トピックス</b>	
<b>1. FY21 1Q 連結決算サマリ</b>		・ 自己株式の取得	P12
・ 連結業績	P4	<b>5. 補足資料</b>	
・ セグメント別	P5	・ 受注高	P13
・ 地域別売上収益	P6	・ 売上収益	P14
<b>2. FY21 1Q セグメント別業績</b>		・ 営業利益	P15
・ 風水力	P7	・ 受注残高	P16
・ 環境プラント	P8	・ 地域別売上収益	P17
・ 精密・電子	P9		
<b>3. FY21 業績予想</b>			
・ 連結業績	P10		
・ セグメント別	P11		

#### ■ 略語の説明

- ・ FY：会計年度（例 「FY21」は2021年12月期会計年度）
- ・ 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している

- 本資料で示す財務数値はIFRSベースで記載している（FY21 1QよりIFRS適用）

# 決算ポイント



## FY21 1Q業績

		前年同期比*	
■ 受注高	<b>1,594 億円</b>	+28.4%	↗
■ 売上収益	<b>1,352 億円</b>	+9.6%	↗
■ 営業利益	<b>122 億円</b>	+103.4%	↗

## FY21 業績予想

		前期比*	
■ 受注高	<b>6,630 億円</b>	+29.7%	↗
■ 売上収益	<b>5,740 億円</b>	+9.9%	↗
■ 営業利益	<b>455 億円</b>	+21.1%	↗

\*↗ は+5%以上、↘ は-5%以下の変化を、→ は変化が±5%未満であることを表す

## トピックス

### ■ FY21 1Q 業績

環境プラント事業と精密・電子事業で受注が好調  
風水力事業、環境プラント事業、精密・電子事業の全事業において前年同期比で増収増益

### ■ FY21 業績予想

直近の好調な市場環境及び業績推移を踏まえ、第2四半期・通期の業績予想を上方修正

### ■ 自己株式の取得

200億円（520万株）を上限とする自己株式の取得を年内に実施することを決定

### ■ 会計基準の変更

FY21 1Qより国際財務報告基準(IFRS)へ移行

それでは、まず3ページをご覧ください。第1四半期決算のポイントについてご説明いたします。

当第1四半期決算は、環境プラント事業において、大型案件の受注と世界的な半導体需要の高まりを背景にして、精密電子事業の受注が好調でした。その結果、全体の受注額が前年同期と比較してプラス28%と大きく増加しております。

売上、営業利益につきましては、昨年はコロナの影響で低調だった建築設備市場などがグローバルで需要回復が見られたこと、それから精密・電子事業において売上が伸長したことなどによって全事業で増収増益となりました。

今期の業績予想につきましては、活況な半導体市場において、さらなる成長が期待されることや、期初の業績予想に対する足元の進捗状況を踏まえて、業績予想を上方修正することといたしました。

また、それに加えて、資本効率の観点から200億円を上限とする自己株式の取得を年内に実施することを決定いたしました。

なお、2020年の通期決算発表時にも説明いたしましたが、当社は、当第1四半期決算より日本会計基準から国際会計基準、IFRSへ移行しておりますので、本資料では前期実績を含めて、全てIFRSベースでのご説明とさせていただきます。

## 1. FY21 1Q 連結決算サマリ 連結業績



(単位：億円)	FY20 1Q	FY21 1Q	増減	増減率
受注高	1,241	1,594	+353	+28.4%
売上収益	1,234	1,352	+118	+9.6%
営業利益	60	122	+62	+103.4%
営業利益率	4.9%	9.0%	+4.1pts	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	33	85	+52	+155.9%
為替レート (JPY/USD)	108.86	106.09		

それでは4ページ目をご覧ください。第1四半期の決算結果についてです。

数値面でいうと、受注高は前年同期から353億円増加して1,594億円、売上に関しては118億円増加して1,352億円、営業利益に関しては62億円増加して122億円。結果、営業利益率は4.1ポイント改善して9.0%となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は52億円増加して85億円と、当第1四半期決算は順調なスタートとなっております。

## 1. FY21 1Q 連結決算サマリ セグメント別



(単位：億円)		FY20 1Q	FY21 1Q	増減	増減率
連結合計	受注高	1,241	1,594	+353	+28.4%
	売上収益	1,234	1,352	+118	+9.6%
	営業利益	60	122	+62	+103.4%
	営業利益率	4.9%	9.0%	+4.1pts	
風水力	受注高	791	789	-1	-0.2%
	売上収益	790	819	+28	+3.6%
	営業利益	46	79	+33	+71.8%
	営業利益率	5.9%	9.7%	+3.8pts	
環境プラント	受注高	45	285	+240	+532.6%
	売上収益	172	194	+21	+12.3%
	営業利益	24	26	+2	+8.3%
	営業利益率	13.9%	13.4%	-0.5pts	
精密・電子	受注高	400	513	+113	+28.4%
	売上収益	266	334	+68	+25.6%
	営業利益	-2	20	+22	-
	営業利益率	-0.9%	6.1%	+7.0pts	
その他、調整	受注高	4	5	+0	+13.2%
	売上収益	4	4	+0	+5.5%
	営業利益	-7	-3	+4	-
	営業利益率	-180.8%	-77.3%	+103.5pts	

続いて、5 ページ目をご覧ください。こちらはセグメント別のサマリーになります。

風水力事業では、受注高は横ばいで、売上は増加して、営業利益は前年同期から 33 億円増と、主にカスタムポンプ事業の採算性の向上が寄与したことで、増収以上の増益となりました。

環境プラント事業につきましては、ゴミ処理施設の大型案件を 2 件受注したことによって、受注高が大きく伸張しております。

精密・電子事業につきましては、半導体メーカーの設備投資が増加しておりまして、世界的な半導体不足から顧客の工場稼働率も依然高い状況が継続しておりまして、受注、売上、営業利益がいずれも前年同期を上回る結果となっております。

## 1. FY21 1Q 連結決算サマリ 地域別売上収益



(単位: 億円)	FY20 1Q		FY21 1Q		増減	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
連結合計	1,234	100.0%	1,352	100.0%	+118	+9.6%
日本	666	54.0%	704	52.0%	+37	+5.6%
海外	567	46.0%	648	48.0%	+80	+14.2%
中国	108	8.8%	218	16.1%	+109	+100.6%
アジア (中国除く)	196	15.9%	200	14.8%	+3	+1.9%
北米	126	10.3%	94	7.0%	-32	-25.6%
欧州	63	5.1%	67	5.0%	+4	+6.8%
中東	48	3.9%	37	2.8%	-10	-22.4%
その他	24	2.0%	30	2.3%	+6	+26.7%

※本資料で示す「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示している

続いて、次の6ページをご覧ください。地域別の売上構成です。

こちらの地域別は顧客の所在地記別の売上構成となっております。

昨年はコロナの影響で1Qは中国での売上が大きく減少しましたが、その中国ではいち早い経済活動再開の動きと、中国政府による積極的な設備投資の支援などがあって、売上が大きく改善しております。

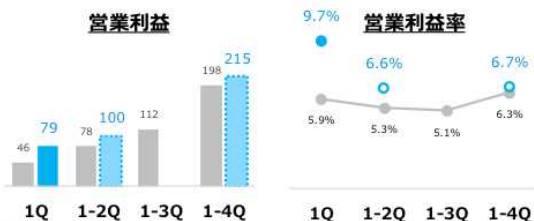
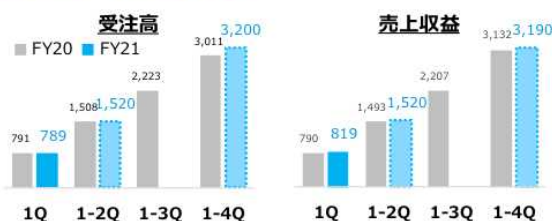
一方で、北米向けの売上はですね、米国に主要拠点を構えるコンプレッサ・タービン事業での製品売上の減少や、コロナによる派遣作業員の移動制限等も一部でまだ継続しておりまして、その影響を受けて前年同期を下回っております。



## 2. FY21 1Q セグメント別業績 風水力



### 業績推移 (単位: 億円)



### 売上収益S&S比率

	FY20				FY21			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
風水力	41.1%	38.9%	35.8%	35.5%	35.7%	-	-	-
ポンプ	34.3%	29.9%	26.8%	26.8%	31.3%	-	-	-
CT	55.9%	56.5%	52.9%	51.1%	51.3%	-	-	-

### ポイント

#### ポンプ

- 標準ポンプは建築設備市場の回復により受注・売上・営業利益が増加 (+)
- カスタムポンプは中国で受注・売上・営業利益が増加、国内で製品の収益性が改善し増益 (+)

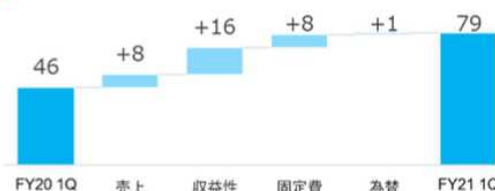
#### コンプレッサ・タービン (CT)

- コロナ影響によりサービス&サポート (S&S) の売上が減少
- 製品の収益性改善により増益 (+)

#### 冷熱

- 中国市場の回復により受注・売上が増加
- 国内でS&Sの期ずれが発生し、営業利益が一時的に低下 (-)

### 営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



続いて、セグメントごとの第1四半期業績内容についてご説明してまいります。7ページをご覧ください。

まずは風水力事業部についてです。

受注高に関しては、前年同期から1億円減の789億円、売上は28億円増の819億円、営業利益は33億円増の79億円で、主にポンプ事業が牽引して増収増益となりました。

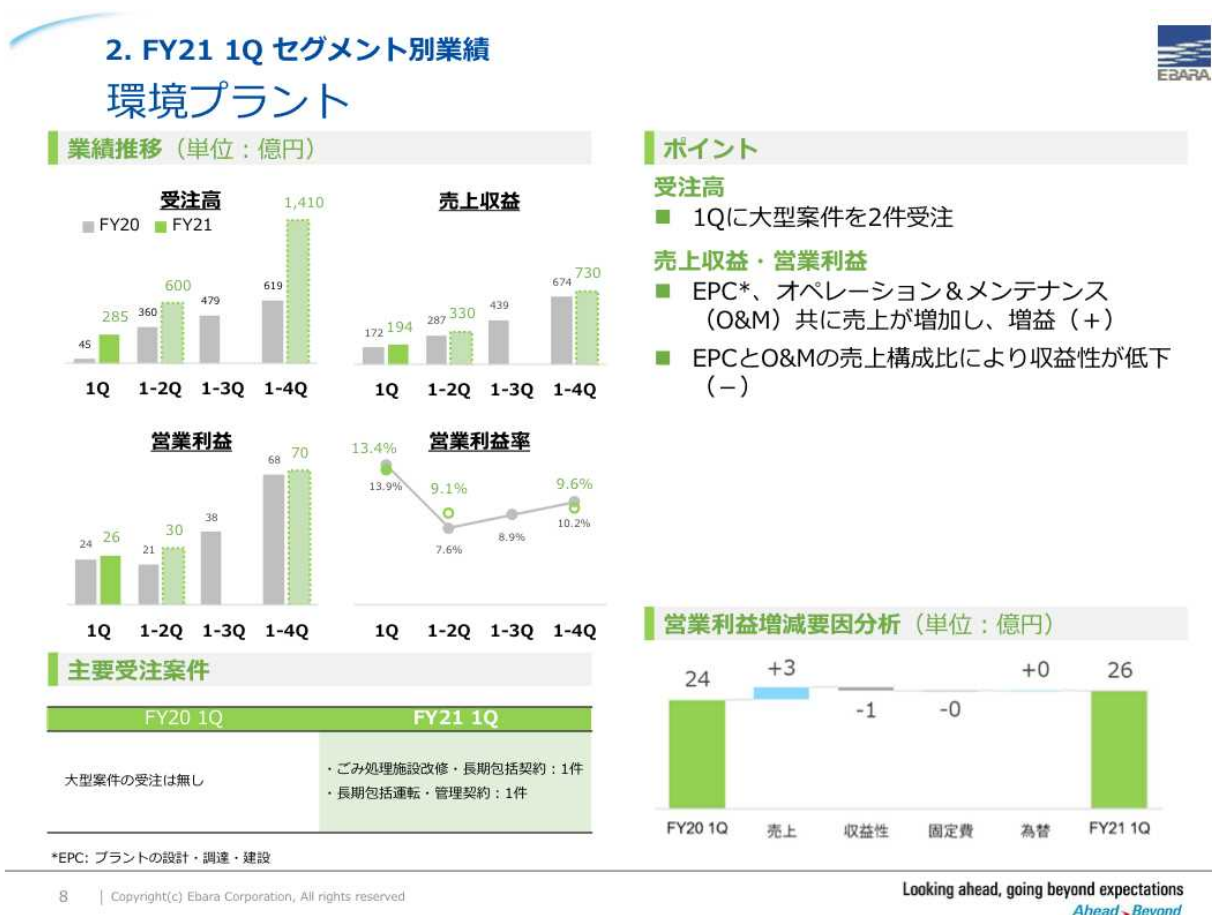
主力事業ごとに業績を見てまいりますと、まずポンプ事業ですけれども、前年同期と比較して増収増益となりました。建築設備市場を主な対面市場とする標準ポンプ事業では、昨年のコロナ影響による需要の低迷から回復が見られております。

石油・ガス市場を対面市場としますカスタムポンプ事業においては、中国は石油化学向けの受注売上が堅調に推移いたしました。また、富津工場における製品利益の改善の施策をいろいろ打っていますが、その成果が出てきております。

次にコンプレッサ・タービン事業ですが、こちらは減収増益でした。

石油・ガス市場においては、一部の地域で当社案件は動きが見られるものの、中国でのコロナ影響による営業活動の制限などが継続しておりサービス&サポートの受注・売上は低調でした。営業利益については、製品利益率改善施策が寄与いたしまして収益性が改善しております。

続いて、冷熱事業ですけれども、こちらは増収減益でした。中国市場では需要が回復基調で受注売上が堅調でしたけれども、厳しい価格競争等が続いていることによって、主に国内冷凍機のメンテナンス売上の期ずれなどもあって営業利益は微減という結果となりました。



8 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations  
*Ahead Beyond*

続きまして8ページですけど、こちらは環境プラント事業になります。

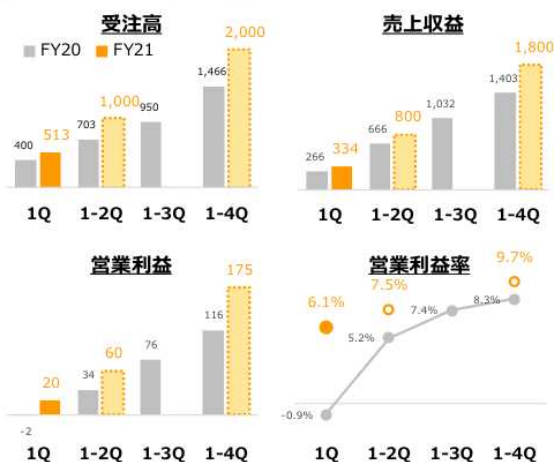
受注高については、前年同期から240億円増の285億円、売上に関しては21億円増の194億円、営業利益に関しては2億円増の26億円で増収増益となりました。

受注案件はスライドの左下の主要受注案件に記載のとおりごみ処理施設の公共向けの大型案件を2件受注しております。今期はですね、EPCの工事進捗やオペレーション&メンテナンスの売上も順調に増加しております。

## 2. FY21 1Q セグメント別業績 精密・電子



### 業績推移 (単位: 億円)



### 地域別売上収益

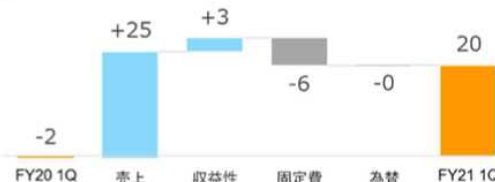
FY21 1Q (単位: 億円)	日本	アジア (日本 除く)	北米	欧州	中東	その他	合計
売上収益	91	184	40	13	3	-	334
増減* (対FY20 1Q)	↗	↗	↗	↗	↘	↘	↗

\* ↗は+5%以上、↘は-5%以下の変化を、→は変化が±5%未満であることを表す

### ポイント

- 受注高**
  - 半導体市場の設備投資は高水準で推移
  - 1Qの受注高としては過去最高
- 売上収益**
  - 好調な受注により増収
- 営業利益**
  - 増収の影響 (+)
  - CMPで案件ミックスの改善とS&Sの増加により収益性が向上 (+)
  - 人件費が増加 (-)

### 営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



続いて9ページをご覧ください。こちら精密・電子事業となります。

受注高に関しては前年同期から113億円増の513億円、売上に関しては68億円増の334億円、営業利益は22億円増の20億円で増収増益となりました。第1四半期の受注高としましては過去最高で好調なスタートとなりました。

半導体市場は、設備投資は昨年積極的な投資を行ってきたロジック、ファブリーが今期も高水準で推移している、それに加えてメモリの投資に関しても復調してきておりまして、受注高が大きく増加しております。

半導体需要拡大に伴って売上の増加や顧客の工場稼働率が高い水準で推移したことによって、部品やオーバーホールなどのS&S事業、こちらも増加しておりまして増収増益となりました。

営業利益は需要の拡大に伴って、人件費が若干増加傾向にあります。CMPの案件ミックスの改善や高採算のS&S売上の増加がありまして、収益性は向上しております。

### 3. FY21 業績予想 連結業績



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1-2Q					1-4Q				
	FY20	FY21 旧計画 21/02/12	FY21 計画 21/05/14	増減	増減率	FY20	FY21 旧計画 21/02/12	FY21 計画 21/05/14	増減	増減率
	a		b	b-a		c		d	d-c	
受注高	2,580	2,930	3,130	+549	+21.3%	5,112	6,280	6,630	+1,517	+29.7%
売上収益	2,454	2,660	2,660	+205	+8.4%	5,224	5,590	5,740	+515	+9.9%
営業利益	127	150	185	+57	+44.9%	375	430	455	+79	+21.1%
営業利益率	5.2%	5.6%	7.0%	+1.8pts		7.2%	7.7%	7.9%	+0.7pts	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	69	95	120	+50	+71.6%	242	280	295	+52	+21.7%
為替レート(JPY/USD)	107.63	105.00	105.00			104.51	105.00	105.00		
ROIC						6.4%	7.0%	7.5%	+1.1pts	
1株当たり年間配当金						90円	100円	100円	+10円	
中間配当金						30円	50円	50円	+20円	
期末配当金						60円	50円	50円	-10円	

それでは今までが 1Q の結果で、ここから 2021 年の通期業績予想をご説明いたします。10 ページ目です。

2021 年の事業環境につきましては、コロナの影響は依然として注視が必要な状況ですけれども、期末に向けて世界経済は回復方向に向かっていくと見ております。

また、5G の進展や IoT の普及などで急遽に半導体の需要が増加していることや、当社の第 1 四半期の順調な業績進捗を踏まえて、第 2 四半期累計期間、および通期の業績予想を上方修正することといたしました。

2021 年の通期業績予想につきましては、受注高は期初の予想から 350 億円引き上げて 6,630 億円、売上に関しては 150 億円引き上げて 5,740 億円といたしました。

営業利益に関しては、期初の過去最高益予想をさらに更新する 25 億円プラスの 455 億円といたしました。その結果、営業利益率は 7.9% となる見込みでございます。

最重要経営指標である ROIC に関しては、0.5 ポイント上昇して 7.5% となる見込みでございます。なお、一株当たりの年間配当金、為替レート予想は期初から据え置きとしております。



### 3. FY21 業績予想 セグメント別



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)		1-2Q					1-4Q				
		FY20	FY21 旧計画	FY21 計画	増減	増減率	FY20	FY21 旧計画	FY21 計画	増減	増減率
		a	21/02/12	21/05/14	b-a		c	21/02/12	21/05/14	d-c	
連結合計	受注高	2,580	2,930	3,130	+549	+21.3%	5,112	6,280	6,630	+1,517	+29.7%
	売上収益	2,454	2,660	2,660	+205	+8.4%	5,224	5,590	5,740	+515	+9.9%
	営業利益	127	150	185	+57	+44.9%	375	430	455	+79	+21.1%
	営業利益率	5.2%	5.6%	7.0%	+1.8pts		7.2%	7.7%	7.9%	+0.7pts	
風水力	受注高	1,508	1,490	1,520	+11	+0.8%	3,011	3,140	3,200	+188	+6.3%
	売上収益	1,493	1,520	1,520	+26	+1.8%	3,132	3,140	3,190	+57	+1.8%
	営業利益	78	80	100	+21	+26.6%	198	200	215	+16	+8.6%
	営業利益率	5.3%	5.3%	6.6%	+1.3pts		6.3%	6.4%	6.7%	+0.4pts	
環境プラント	受注高	360	520	600	+239	+66.3%	619	1,410	1,410	+790	+127.7%
	売上収益	287	330	330	+42	+14.7%	674	730	730	+55	+8.3%
	営業利益	21	30	30	+8	+37.4%	68	70	70	+1	+1.9%
	営業利益率	7.6%	9.1%	9.1%	+1.5pts		10.2%	9.6%	9.6%	-0.6pts	
精密・電子	受注高	703	910	1,000	+296	+42.1%	1,466	1,710	2,000	+533	+36.4%
	売上収益	666	800	800	+133	+20.0%	1,403	1,700	1,800	+396	+28.2%
	営業利益	34	45	60	+25	+74.0%	116	165	175	+58	+50.5%
	営業利益率	5.2%	5.6%	7.5%	+2.3pts		8.3%	9.7%	9.7%	+1.4pts	
その他,調整	受注高	7	10	10	+2	+34.8%	14	20	20	+5	+34.5%
	売上収益	7	10	10	+2	+38.5%	14	20	20	+5	+34.3%
	営業利益	-7	-5	-5	+2	-	-7	-5	-5	+2	-
	営業利益率	-105.9%	-50.0%	-50.0%	+55.9pts		-49.1%	-25.0%	-25.0%	+24.1pts	

※2021年4月に買収を完了したトルコのポンプメーカー「ハンサン社」の収益を風水力事業の業績予想へ反映

それでは、セグメント別の修正計画を次のページでご確認ください。

セグメントごとに修正内容をご説明しますと、風水力事業では上期、通期予想それぞれ上方修正しております。主には、トルコのポンプメーカーであるハンサン社を4月に買収完了しておりますけれども、これに伴う収益を取り込んだ業績予想ということになっております。

環境プラント事業は、上期の受注高は80億円上方修正しておりますけれども、通期予想は据え置きとさせていただきます。

精密・電子事業では、足元の良好な受注環境を踏まえて、上期、通期の業績をそれぞれ上方修正いたしました。精密・電子事業は受注高、売上はいずれも過去最高を更新する見込みでございます。

前年実績と比較しまして、全体では受注高は1,517億円増、売上は515億円増、営業利益は79億円増となる見込みです。今後も、さらなる成長に向けた各事業の施策を着実に実行してまいります。

#### 4. トピックス

### 自己株式の取得



#### 自己株式取得の概要

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得価額の総額 (取得する株式総数)	上限：200億円 (520万株)
取得期間	2021年5月17日～2021年12月23日
取得する理由	資本効率の向上

上記により取得した自己株式の全株式数を2022年1月31日に消却予定

最後に自己株式の取得についてご説明いたします。

E-Plan2022 の中では財務方針で資本効率の向上、および財務状況や経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を実施するという方針としております。昨年はコロナの影響があつて先行きが不透明な状況が続いていたため、手元の現預金の確保を優先してまいりました。

そこで、今期は本日の取締役会にて自己株式の取得を決定しております。取得価額については200億円を上限としておりまして、取得期間に関しては、5月17日から年末の12月23日までの年内を予定しております。

今回取得いたします自己株式は、全て消却することといたしております。詳細に関しては適時開示の内容をご確認いただきたいと思います。

以上で、第1四半期決算の概要説明は終わりです。

## 5. 補足資料

### 受注高



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q 旧計画 21/02/12	1-2Q 計画 21/05/14	1-4Q 旧計画 21/02/12	1-4Q 計画 21/05/14
連結合計	1,241	2,580	3,664	5,112	1,594	2,930	3,130	6,280	6,630
風水力	791	1,508	2,223	3,011	789	1,490	1,520	3,140	3,200
ポンプ	436	836	1,239	1,660	488	840	870	1,750	1,810
CT	236	430	610	871	175	400	400	900	900
冷熱	72	168	256	331	95	200	200	380	380
その他	45	73	116	147	30	50	50	110	110
環境プラント	45	360	479	619	285	520	600	1,410	1,410
精密・電子	400	703	950	1,466	513	910	1,000	1,710	2,000
コンポーネント	162	316	456	632	203	310	350	640	700
CMP	219	359	450	779	280	560	610	1,010	1,240
その他	18	28	43	54	30	40	40	60	60
その他	4	7	11	14	5	10	10	20	20

## 5. 補足資料

### 売上収益



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q 旧計画 21/02/12	1-2Q 計画 21/05/14	1-4Q 旧計画 21/02/12	1-4Q 計画 21/05/14
連結合計	1,234	2,454	3,690	5,224	1,352	2,660	2,660	5,590	5,740
風水力	790	1,493	2,207	3,132	819	1,520	1,520	3,140	3,190
ポンプ	465	819	1,200	1,681	524	870	870	1,730	1,780
CT	213	440	663	958	166	400	400	910	910
冷熱	74	167	247	355	86	180	180	370	370
その他	36	65	96	137	41	70	70	130	130
環境プラント	172	287	439	674	194	330	330	730	730
精密・電子	266	666	1,032	1,403	334	800	800	1,700	1,800
コンポーネント	137	284	430	600	184	310	310	630	670
CMP	114	353	560	740	138	450	450	990	1,050
その他	14	29	41	63	11	40	40	80	80
その他	4	7	11	14	4	10	10	20	20



## 5. 補足資料 営業利益



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q 旧計画 21/02/12	1-2Q 計画 21/05/14	1-4Q 旧計画 21/02/12	1-4Q 計画 21/05/14
連結合計	60	127	220	375	122	150	185	430	455
風水力	46	78	112	198	79	80	100	200	215
ポンプ	46	59	64	92	76	65	85	110	125
CT	-7	10	31	77	-6	0	0	62	62
冷熱	5	11	12	19	3	9	9	22	22
その他	2	-2	5	9	7	6	6	6	6
環境プラント	24	21	38	68	26	30	30	70	70
精密・電子	-2	34	76	116	20	45	60	165	175
その他、調整	-7	-7	-8	-7	-3	-5	-5	-5	-5

## 5. 補足資料

### 受注残高



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY20				FY21				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q 旧計画 21/02/12	1-2Q 計画 21/05/14	1-4Q 旧計画 21/02/12	1-4Q 計画 21/05/14
連結合計	4,817	4,930	4,774	4,675	4,984	4,945	5,145	5,365	5,565
風水力	2,093	2,098	2,091	1,942	1,966	1,912	1,942	1,942	1,952
ポンプ	899	943	967	909	891	879	909	929	939
CT	947	908	856	810	850	810	810	800	800
冷熱	153	157	166	130	142	150	150	140	140
その他	92	89	101	92	81	72	72	72	72
環境プラント	2,188	2,390	2,361	2,267	2,362	2,457	2,537	2,947	2,947
精密・電子	536	440	320	465	654	575	665	475	665
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 5. 補足資料

### 地域別売上収益



(単位：億円)	FY20				FY21
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q
風水力	790	1,493	2,207	3,132	819
日本	419	682	932	1,306	416
アジア（日本除く）	162	392	655	961	231
北米	90	135	233	291	54
欧州	50	145	195	293	53
中東	44	89	118	168	33
その他	24	47	72	111	30
環境プラント	172	287	439	674	194
日本	170	273	416	636	191
アジア（日本除く）	2	13	23	37	2
精密・電子	266	666	1,032	1,403	334
日本	72	161	287	401	91
アジア（日本除く）	140	404	590	788	184
北米	36	69	99	127	40
欧州	12	24	46	73	13
中東	4	6	8	11	3
その他	0	0	0	0	-

※本資料で示す「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示している

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。